

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ヨシア		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を大切にし、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	利用児童の多様なニーズに対応するため、支援内容のさらなる充実を図っていく必要がある。	利用児童の特性や支援内容が多様であるため、職員間での支援方法の共有に継続的な取組が必要である。
2	職員同士の連携を大切にし、日々の支援内容について情報共有を行いながら支援の質の向上を図っている。	職員間の情報共有や支援方法について、より統一した理解を深めていく必要がある。	日々の業務の中で、定期的にミーティング時間を確保する。
3	保護者とのコミュニケーションを大切にし、家庭や学校との連携を意識した支援を行っている。特に学校の中に入る学校支援は特徴的である。	地域や関係機関との連携について、今後さらに強化していく余地がある。	関係機関との情報交換の機会をより計画的に設けていく必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や関係機関との連携について、今後さらに強化していく余地がある。	保護者や関係機関との情報交換の機会を、より計画的に設けていく必要がある。	保護者や学校、関係機関との連携を大切にし、情報交換の機会を増やしていく。
2	職員間の情報共有について、より円滑に行える体制づくりが必要である。	利用児童の多様なニーズに対応するための支援方法について、職員間で共通理解を深めていく必要がある。	研修や勉強会を通して、職員の支援スキルや知識の向上を目指す。
3			